

# 田所光之マルセル

多彩な音色、精緻な美、詩情に満ちた高貴な旋律——  
後世に多くの影響を与えた2人の作曲家によるサロン音楽の楽しみ方を、  
いま注目の田所光之マルセルが提唱する!

## ラヴェル ヘンゼルト

超絶技巧を必要とし、音楽的にも充実したヘンゼルトのエチュード全曲。  
ドイツで生まれでロシアに渡り、チャイコフスキーやラフマニノフに影響を与え、  
リストが絶賛するほどの偉大なヴィルトオーズであったヘンゼルトの最高傑作。  
あまり弾かれませんがぜひこの機会に聴いていただきたいです。  
サロンという空間ならではのプログラムをぜひお楽しみください。

(田所光之マルセル)

2024年8月18日(日)

開場 17:30/開演 18:00

入場料: 会員4,500円(座席指定可)/

一般5,000円/学生2,500円(全席自由席)

セット券: 会員 8,500 円(座席指定可)/ 一般 9,500 円(全席自由席)/ 学生 4,500 円(全席自由席)

ヘンゼルト: エチュード全曲 (Op.2, Op.5)

12の演奏会用性格的エチュード Op.2

12のサロン用エチュード Op.5

\*やむを得ない事情により日時・内容等の変更、中止等がある場合があります。

大好きなラヴェル作品を集めてのプログラムです。ラヴェルの友人ガルバンに  
よる編曲による弦楽四重奏曲のピアノ版、そして傑作「夜のガスパール」  
ほかを。サロンという空間ならではのプログラムをぜひお楽しみください。

(田所光之マルセル)

2024年8月10日(土)

開場 17:30/開演 18:00

入場料: 会員4,500円(座席指定可)/

一般5,000円/学生2,500円(全席自由席)

ラヴェル (ガルバン編曲): 弦楽四重奏曲 (ピアノ・ソロ版)

ラヴェル (サマズイユ編曲): ピアノ協奏曲ト長調より 第2楽章 (ピアノ・ソロ版)

ラヴェル: 夜のガスパール

\*やむを得ない事情により日時・内容等の変更、中止等がある場合があります。





# 田所光之マルセル ピアノサイタル

〈ラヴェル〉 2024年8月10日(土) 開場 17:30/開演 18:00 会員 4,500円(座席指定可)/一般 5,000円/学生 2,500円(全席自由席)  
〈ヘンゼルト〉 2024年8月18日(日) 開場 17:30/開演 18:00 会員 4,500円(座席指定可)/一般 5,000円/学生 2,500円(全席自由席)

多彩な音色、精緻な美、詩情に満ちた高貴な旋律——  
後世に多くの影響を与えた2人の作曲家によるサロン音楽の楽しみ方を、  
いま注目の田所光之マルセルが提唱する!

今回は、かねてより注目していた田所光之マルセル氏が初登場となる!

エリザベート王妃国際コンクール、モントリオール国際音楽コンクール、ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールなど巨匠たちの登竜門ともいえる数々の名門コンクールで、国際的に名を馳せてきた真正正銘の本格派だ。

美竹サロンでの演奏プログラムは、歴史に耐えてきた珠玉の名曲はもちろんのこと、それとは別に、それぞれの演奏家が探究の末に発見した芸術の披露も上記に代えがたい価値があるものと考えている。

トネル、メシアン、フランス・バロック等々の作品による演奏会や、長期のプロジェクトでいえば、演奏者の覚悟と、精神力・体力を要するようなプロコフィエフやベートーヴェンのソナタ全曲等々も開催してきた。

いずれの演奏会でも、演奏者の芸術的探究の「魂の爆発」とも言えるような瞬間を体験することができ、これこそがサロンコンサートの醍醐味ではないだろうか、という感慨を抱いたものである。

今回の田所光之マルセル氏の公演も、注目に値すべき異彩を放ったプログラムとなっている。

アドルフ・フォン・ヘンゼルト(1814-1889)

<プログラム>

ヘンゼルト:エチュード全曲 (Op.2, Op.5)

《12の演奏会用性格のエチュードOp.2》

- 第1曲「嵐よ、汝は私を打ちめすことは出来まい」
- 第2曲「少しは私のことを思っておくれ、常にお前を思っている私を」
- 第3曲「私の望みを聞き入れて」
- 第4曲 デュオ——愛の安らぎ
- 第5曲 嵐の人生
- 第6曲「もし私が鳥だったら、お前の元へ飛んでゆくに」
- 第7曲「青春、の翼を備えしもの」
- 第8曲 お前は私を惹きつけ、魅惑し、溺れさせる
- 第9曲 初恋、至上の喜び。お前は私の元を去ったが、思い出は二人のもの
- 第10曲 小川が大海に流れ込んでゆくように、愛しい人よ、私の心はお前を待ち受けている
- 第11曲「愛しい人よ、もう眠ったかい」
- 第12曲 愛の苦悩と思い出、ああ何と揺れる心! 私の心臓は高鳴る

《12のサロン用エチュード Op.5》

- 第1曲 エロイカ
- 第2曲
- 第3曲 魔女のダンス
- 第4曲 アヴェ・マリア

- 第5曲 失われた祖国
- 第6曲 嵐のあとの神への感謝
- 第7曲 妖精の踊り
- 第8曲 ロマンズ
- 第9曲
- 第10曲 失われた幸福
- 第11曲 恋の歌
- 第12曲 夜の幽霊の行列

ロマン派の最盛期である19世紀に生きたドイツの作曲家でピアノの名手だ。

近年、その功績が再評価されているそうだが、知名度は決して高くない。

しかし、ロシアの音楽教育やフランス音楽に影響を与えたとされており、クラシック音楽の歴史において、実は重要な人物だ。ピアノの腕前では、かのフランツ・リスト(1811-1886)が「ピロードの掌」と呼んで絶賛するほどで、セルゲイ・ラフマニノフ(1873-1943)からも高く評価されていた。

ピアノの名手が手がけたエチュードといえば、ショパンのエチュードが有名だが、全体を通した統一感と音楽性の深さに共通点を感じられる。

ヘンゼルトのエチュードは、多彩な音色、精緻な美、詩情に満ちた旋律が魅力的である。

ショパンのエチュード並に評価されても決して不思議ではないのではないかな。

セット公演のもう一方の公演では、ラヴェル弦楽四重奏曲のピアノ版がメインプログラムとなっている。こちらもなかなか挑戦的な内容だ。

<プログラム>

ラヴェル(ガルバン編曲):弦楽四重奏曲(ピアノ・ソロ版)

ラヴェル(サマズイユ編曲):ピアノ協奏曲 長調 より 第2楽章(ピアノ・ソロ版)

ラヴェル:夜のガスパール

オリジナルの弦楽四重奏版では名盤も多く、この作品のファンも多い。

ラヴェルの持つ独自の音楽性をどう表現すれば適切だろうか、[まるで空気が変わるようだ]というけれど、温度や風向き、香りが精巧に変化していくような美しさが、この作品にはふんだんに描かれている。

クラシックを愛する人であればヘンゼルトほどマイナーではなく、好意的に触れる機会が多いモーリス・ラヴェル(1875-1937)だが、フランス音楽に影響を与えたヘンゼルトとの組み合わせは実に興味深い。

日仏のルーツを持つ田所氏、また、曲の構造を巧みに把握する才能を持ち、自身でも編曲を手がける才能のある彼だからこそ、ぜひ聴いてみたい貴重な公演となっている。(渋谷美竹サロン)

セット券: 会員 8,500円(座席指定可)/  
一般 9,500円(全席自由席)/  
学生 4,500円(全席自由席)



田所光之マルセル

(TADOKORO Marcel) Piano

「心と指が完全に一致し、どんな音楽でも自在に操ることができる真の音楽家」(グラモフォン誌)

2021年のエリザベート王妃国際コンクールのセミファイナリスト、モントリオール国際音楽コンクールのファイナリストを経て、2022年はヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールでジョン・ゾルダナー審査員長特別賞、サンタデール国際ピアノコンクールでは第3位を受賞。これまでウラル・フィル、フォートワース響、ワロニー・ロイヤル室内管などと共演している。

日本人の父とフランス人の母の間に生まれ、多様な文化の中で育った幼少期は、田所の音楽観に多大な影響を与えた。名古屋国立音楽院に満場一致の首席で入学。そしてJ-F.エッセール、F.ポファールの両氏に師事し、行われたドビュッシー国際コンクールでは第2位を受賞。ほかにも数多くのコンクールで受賞を果たしている。同音楽院を卒業してからは、エコール・ノルマル音楽院に奨学生として入学し、R.シェレシエフスカヤのもとでさらに自らの音楽に磨きをかけている。

ほかにもO.ガルドン、M.ラフォーレ、A.ロマノフスキ、海老影子、田島三保子、鈴木彩香、長野量雄、水村さおりの各氏にも師事。



大ホールプラチナ席をしのぐ  
“渋谷美竹サロンという楽器”の中で  
味わう一期一会  
世界に羽ばたく才能あふれる  
トップアーティストが続々と集結。

日本のトップクラスの若手演奏家が、  
こだわり抜いた価値ある企画をお届けしていきます。

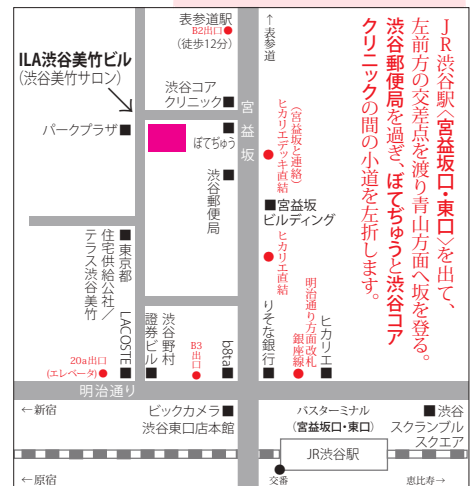
渋谷美竹サロンが追求する“本物の音楽”は、

演奏者と参加者とわたしたちの、  
三位一体の努力と対話から生まれます。

大好評につき  
サロン・メンバーズ  
追加募集中!



誕生。  
クラシック音楽サロンの、  
宮益坂、  
渋谷駅 徒歩2分



●お問い合わせ

株式会社 ILA (渋谷美竹サロン)

東京都渋谷区渋谷1-12-8 (〒150-0002)

☎ 03-6452-6711 (平日10:00-18:00)

070-2168-8484 (時間外可)

Fax 03(3409)0188

